きこえない・きこえにくい

お子さんを持つ ママ・パパへ

お子さんの成長
一緒に考えてみませんか。

一般財団法人 全日本ろうあ連盟
Japanese Federation of the Deaf

このパンフレットを通して、お子さんに合った成長を、
一緒に考えていきましょう。

message

ママ・パパへのメッセージ

「お子さんの聞こえについて、もう少し詳しい検査をしましょう」
「お子さんは耳が聞こえづらいようです」と言われたとき、
子育てを前にしていろいろな想いがかけめぐったことと思います。

聞こえないって、何？

この子はどういうふうに育っていくのだろう？

子どもとどう接すればいいの？

どこに相談すればいいのだろう？

この世界には、きこえなさ・きこえにくさを持ちながら暮らし、社会の一員として活躍している人たちが多数います。会社員や主婦、弁護士、医師、大学教授、薬剤師、教諭、議会議員、俳優、バス運転手、プロスポーツ選手とさまざまです。
かつては、手話が敬遠され、社会の壁もたくさんありましたが、先人たちの努力によって、きこえない人の活躍の場はどんどん広がっています。みなさんのお子さんが大人になる頃には、パイロットや外交官、国会議員など、新たに活躍する人も誕生しているかもしれません。
さて、このパンフレットでは、お子さんがきこえにくい・きこえないと診断された親ごさんに、療育や教育、言語やコミュニケーションに選択肢があることをお伝えします。「赤ちゃんがきこえなくてどうしよう」という不安から、「この子はきこえないけど大丈夫!」と思うきっかけを得てほしいと思います。
病院では、補聴器や人工内耳についての説明を受けていることでしょう。そして、ここでは、お子さんの先輩たちの声、みなさんの先輩であるきこえない子を育てている親ごさんの声を紹介します。だれも一人も残さずに、後になって手話という選択肢があることを知らなかったということがないようにと願い、お手元にお届けします。

コミュニケーションと言語

お子さんは家族や周囲とのコミュニケーションですくすく育ちます。
手話は補聴器や人工内耳と一緒に使うこともできます。

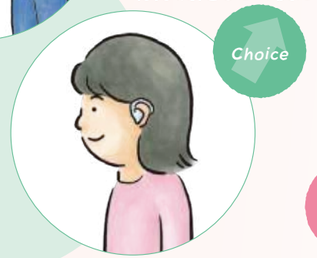
★子どもに「よく見える」コミュニケーションを楽しみましょう。
絵や写真、玩具も使ってたくさん遊んであげることが大切です。

手話

聞こえにくい子どもが
自然にアプローチできる
「見てわかることば」です。
難聴と診断された
その日から使うことができます。

補聴器

病院やろう学校・療育施設で
補聴器をあわせ、
聞こえとことばを育みます。
生後半年には
聴力測定をして使えます。



人工内耳

高度難聴で補聴器の効果が少ないときは、
1歳から人工内耳の手術を選べます。
補聴器と人工内耳も一緒に使えます。

シチュエーション別

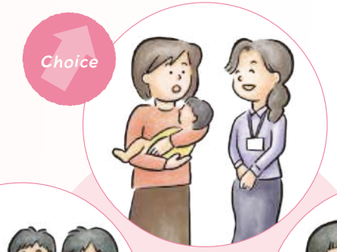
成長の選択肢をご紹介します!

教育

手話や聴覚を活用した
学習やこころの支援が大切です。

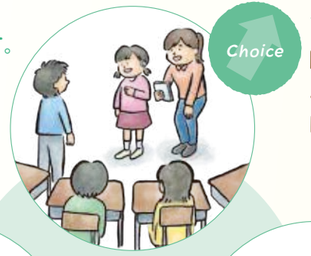
ろう学校の早期相談

0〜2歳児の子育てや
両親の支援、情報提供を通して、
子どものことばと発達を育みます。
個別とグループ指導があります。



難聴特別支援学級

地域の難聴学級に在籍して、
いくつかの科目で通常学級に行き、
聞こえる友だちと一緒に
授業を受けます。



ろう学校（聴覚特別支援学校）

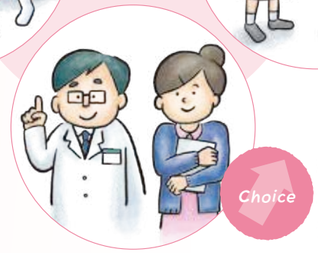
聞こえのケアや手話を使って
よくわかる授業や学校生活を送ることができます。
同じ仲間が集まる大切な場所です。

一般小学校（難聴通級指導教室）

地域の小学校で支援を受けながら学び、
決まった日に特別支援学校や
難聴学級で指導を受けることもできます。

児童発達支援、療育施設

0歳から就学前まで、
難聴児の特性に合わせ、
遊びを通してことばや
概念を育てます。



クリニックなど

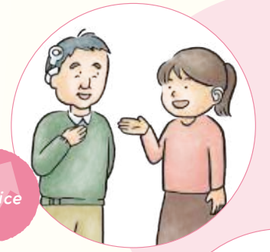
総合リハビリテーション施設や、
地域のクリニックで言語指導や
発達支援をしているところもあります。

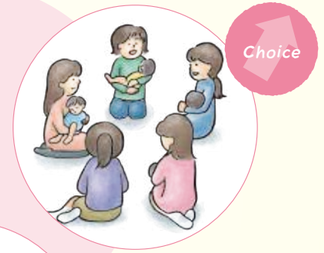
保育園・幼稚園

保育園や幼稚園に
在籍しながら、療育や
ろう学校の教育相談、
クリニックなどに通い、
聞こえにくい子どもと
交流しながら育てます。

NPO団体やフリースクール

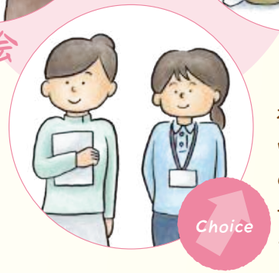
全国に難聴児やろう児を支援する
NPOやフリースクールがあります。
子育て相談や手話教室なども行っています。





難聴児やろう児の親の会

みなさんと同じ思いや経験を
してきた先輩ママやパパ、
成人ろう者や難聴者の話を
聞いてみましょう。



県市区町村の窓口

福祉課や保健師さんも、
いろいろな相談に
のっています。地域によって、
子どもを一時的に預かって
くれる制度もあります。

乳幼児期の療育

★地域によって施設や療育環境は
異なりますので、周囲に相談しましょう。

難聴と診断されたら気軽 に相談し、0歳から楽しい子育てを始めましょう。

相談相手

お子さんや親御さんには
仲間や先輩がたくさんいます。

experience

体験談 先輩たちに聞きました！

私も、我が子が難聴で生まれたときは、とてもショックでした。病院からすぐにろう学校へ向かうと、生徒たちが手話言語で生き生きと語り合っていました。手話言語で子育てしよう！と決めた瞬間でした。その後、我が子は、ろう学校を選び、友達や先輩と手話言語で意見を交わせるようになりました。子どもの将来に不安を感じることもあるでしょう…でも、聞こえない方々や先生、いろいろな方々があなたやお子さんをサポートしてくれますよ。ともに前を向いて歩んでいきましょう！

Aさん（仮名）
難聴児（小学生）の保護者

きこえない先輩からのメッセージ

column

早瀬 久美様 薬剤師

進路相談で「ろう者は薬剤師になれない」と言われました。確かに法律ではダメと書かれています。落ち込んだ私に母は言いました。「法律は人間が作ったものだから人間が変えることができる。あなたは自分の信じる道を生きなさい」いま私が薬剤師として誇りをもって仕事ができるのは私を支えてくれた人たちのおかげだと心から感謝しています。

https://www.youtube.com/watch?v=yTBdLNiUCsY

早川 恵先生 久留米聴覚特別支援学校 乳幼児教育相談担当

聞こえない子どもは成長して聞こえない大人になります。どんな子ども時代を過ごして欲しいか、そしてどんな大人になって欲しいか、いろいろな聞こえない人たちに出会って考えてみてください。「手話」は親子間のスムーズなやりとりを成立させ、絆を深める魔法の言葉です。「手話」を使ってお子さんとのかけがえのない日々を過ごしてください。

https://www.youtube.com/watch?v=6vSIfhBcSiU

ろう児・難聴児の子育てを支援します！

全日本ろうあ連盟では、日本耳鼻咽喉科学会、日本言語聴覚士協会、ろう学校の先生、きこえない子どもを育てた保護者等に協力を依頼して、2019年に「ろう乳幼児等対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、保護者のみなさんへのさまざまな情報提供をするために、本パンフレットを作成しました。
今後も、きこえない・きこえにくいお子さんが、自分らしく生き生きと育つことのできる社会をめざして、活動をしていきます。

きこえない・きこえにくいお子さんを持つパパ・ママのための

情報支援ポータル

子育てについて相談ができる機関・関係施設をご紹介しています。
※情報は随時更新していきます。
https://www.jfd.or.jp/sgh/okosan/

右のQRコードからもアクセスできます。

一般財団法人 全日本ろうあ連盟
Japanese Federation of the Deaf
〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階
TEL.03-3268-8847 FAX.03-3267-3445
http://www.jfd.or.jp/

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION
本パンフレットは、日本財団の助成を受けて作成しています。